

事業所名

児童発達支援はぐみいプラス

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

3月

1日

法人（事業所）理念		全ての人が生きやすい世の中を創造する	
支援方針		保護者の方が安心して子育てできるように、共に考え、共に喜び、保護者の方に並走します。 子どもたちが「できた！わかった！おもしろい！」の経験を積み、自己肯定感をもち、主体的な人生を送る土台を作ります。	
営業時間		月～金：12：00～19：15 土：11：15～18：30	送迎実施の有無 あり ☐ なし ☐
		支 援 内 容	
本人支援	健康・生活	・連絡帳を活用した健康状態の把握や来所時及び活動中の心身の状況把握を行います。 ・手洗い、排泄、衣服の着脱を促します。 ・カレンダーや絵カード、タイマー等を使用し、見通しを持ちます。 ・パーテーションやカーテン、何がどこにあるかの視覚化などの構造化を行っています。	
	運動・感覚	・ブレキエーション、一本橋、平均台、トランポリン、鉄棒、マット、ボールなどを使用し、感覚統合運動を行い身体の発達を促します。 ・リトミックや手遊びを行い、聞く力や身体操作性を高めます。 ・「WARAリズム」を取り入れ、身体土台作りを行います。 ・ビジョントレーニング、指先を使う活動を行い、目と手の使い方を高めます。	
	認知・行動	・モンテッソーリ教育をベースとした、知育教材を使用し認知を高めます。 ・言語認知プログラム、発達段階に合わせた9つのアプローチ（言語・数・絵・身体・音楽・人・自分・自然・感覚）を行い、脳・身体・心をバランスよくサポートします。 ・はじまりの会で、カレンダーを使用し、日付、天気、今日、昨日、明日を確認します。 ・応用行動分析【ABA】を行い、適切行動の増加を図ります。	
	言語 コミュニケーション	・はじまりの会では、母音カードやあいうべ体操を行います。 ・やりとり遊びやPECSを使用し、コミュニケーションスキルを高めます。 ・シャボン玉などの吹く遊びを通して、口の使い方を高めます。 ・絵本や絵カードにより、言語理解を高めます。	
	人間関係 社会性	・スタッフと信頼関係を築き、無条件の肯定的受容により自己肯定感、自尊心を高めます。 ・スタッフやお友だちの動きを模倣する場面設定を行い、社会性を高めます。 ・運動や歌やリズム、おままごとなどお友だちと一緒に活動を行うことで、他者理解や社会性を高めます。 ・ルール理解や役割分担が必要な遊びや活動を通して、社会性を高めます。	
家族支援		毎回、療育後に保護者様へのフィードバックを行い、その中でご家族の思いや悩みの支援を行っています。ペアレントトレーニングや個別相談を行い、お子さまへの関わり方を共に考えます。	移行支援 園や学校へ、お子さまのできていることや好きなこと、お子さまにとって落ち着く環境設定や声かけの仕方などの情報提供を行っています。
地域支援・地域連携		園等の情報交換や相談援助、地域の子育て支援施設や医療機関等との連携を図ります。	職員の質の向上 毎月、会議と研修を行い、一人一人のスタッフが自身の療育を振り返っています。ABA、PECS、感覚統合などの支援技能を定期的に学んでいます。
主な行事等		季節ごとのプログラム活動（クッキング・工作・お祭りなど）	